

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23.37.38	その人らしい暮らしの実現に向けて、本人の思いに沿ったケアを提供できるよう努めているが、現状まだまだ不十分である。認知症のケアについて、特に本人の思いの表出が困難な場合、職員都合のケアとなっている部分がある。	職員全員が認知症を正しく理解した上で、利用者の思いに沿ったケアを提供できる。	<ul style="list-style-type: none"> ○カンファレンス時に定期的に認知症の勉強会を実施する。 ○認知症の研修会に参加する。参加できなかった職員は伝達研修を受ける。 ○中堅職員は認知症実践者研修へ参加する。 ○職員都合のケアになっていないか、月1回のカンファレンス時に振り返りを行い、チームで共有する。 ○日々の実践の中で振り返る機会を持てるようOJT体制を確立し、新人職員の指導を行い、チーム全体の質の向上に取り組む。 	12ヶ月
2	2	地域の自治会への加入、自治会主催の防災訓練への参加など、少しずつ地域とのつながりは広がっているが、まだ不十分である。	地域と日常的に交流を持ち、さらに地域に根ざした事業所となる。	<ul style="list-style-type: none"> ○散歩の際近隣の方に必ずあいさつをする。 ○地藏盆、文化祭、山王祭など地域の行事に参加する。 ○防災訓練、一斉清掃に参加する。 ○地域との交流を目的に、グループホーム主催で地域向けの企画をする。 	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。